

# 視察研修・研修会等報告書

平成28年度 NO. 1

議席番号 ( 5 ) 議員名 ( 小林勇治 )

## 1. 期 日

平成28年6月30日(木)～7月2日(土) 2泊3日

## 2. 場所

北海道 帯広市 ～ 広尾町 ～ 北広島市

## 3. 視察・研修ルート及び移動方法

<一日目>

矢板駅(JR) → 宇都宮駅(新幹線) → 東京駅(新幹線) → 羽田空港(JAL575便) → 帯広空港(レンタカー) → 帯広市『帯広の森はぐくむについて』 → 広尾町泊

<二日目>

広尾町(レンタカー) → 広尾町『サンタランドについて』 → 苫小牧市泊

<三日目>

苫小牧市(レンタカー) → 北広島市『輪厚スマートインターについて』 → 千歳空港(ANA064便) → 羽田空港 → 東京駅(新幹線) → 宇都宮駅(JR) → 矢板駅

## 4. 視察・研修事項

- (1) 帯広市 『帯広の森はぐくむ』について  
取り組みまでの経過・現状・課題について
- (2) 広尾町 『サンタランド』について  
取り組みまでの経過・現状・課題について
- (3) 北広島市 『輪厚スマートインター』について  
取り組みまでの経過・現状・課題について

## 5. 視察・研修の内容と成果

矢板市

面積 170.66 km<sup>2</sup> 人口 34,158 人 人口密度 372.32 人/km<sup>2</sup>

# (1) 帯広市 『帯広の森はぐくむ』について(現地にて視察・研修)

面積 619.34 km<sup>2</sup> 人口 168,614 人 人口密度 272.24 人/km<sup>2</sup>

歓迎のあいさつ：帯広市議会事務局 総務課 議事係 高橋 均  
視察团团長あいさつ：大島文男

説明者：帯広市 都市建設部 みどりの課 みどりと花の係長 大橋 由幾  
帯広市 都市建設部 みどりの課 みどりと花の係 小丹枝 祐美

## 【取り組みまでの経過】

〒080-0856 帯広市南町南 9 線 49 番地  
TEL:0155-66-6200 FAX:0155-47-3622  
E-MAIL:info@haguku-mu.net

ホーム	帯広の森について	はぐくむについて
今後のイベント	はぐくむだより	アクセス
体験プログラム	メールマガジン	ボランティア募集

## 👍 帯広の森について

### (帯広の森)

『帯広の森』は面積が406.5ha、幅が約550m、延長は約11kmになります。この帯広の森を中心とした緑のベルトが、十勝川から札内川を結ぶことによって、帯広の市街地を包み込むことになります(図1)。

帯広の森は、都市部への人口や産業の過度な集中が進むことによる宅地の郊外部への無秩序な延伸(スプロール化)を防ぎ、都市部と農村部を区分し双方の交流の場としての役割を果たすことが期待されています。また、都市林のもつ公害抑制、都市災害の防止、微気象・環境の緩和、生物生息環境の保全などの機能も期待されています。

さらに、緑による安らぎ、余暇利用のための空間確保なども重視しており、快適な都市環境を確保することを目的とし



図1 帯広の森の位置

ています。

### (帯広の森構想)

「帯広の森」構想は、帯広市の第5代市長の吉村博によって輪郭がつけられました。昭和34年に策定した帯広市総合計画のなかでまちづくりのテーマを『近代的田園都市』と位置づけ、「良好な生活環境を保全しつつ、行政としての責任の果たせる都市人口の最適規模は20万人程度(当時の人口は約10万人)である」と、都市の成長規模の上限を設定しました。この総合計画の土地利用計画のなかには、「都市計画用途地域の周辺部に緑地帯を指定するとともに、帯広川河畔の風致地区を存置するように図る」とあり、グリーンベルト的な考えが包含されていました。

昭和44年に吉村市長がオーストリアを訪問し、そこで『ウィーンの森』に出会ったことを契機として、「帯広の森」構想が具体化されました。広大なウィーンの森と、それに共生するウィーン市民に大きな感銘を受けた吉村市長は、昭和45年に帯広市第2期総合計画策定審議会を発足させ、その場で「帯広の森」構想を発表しました。

そして、昭和46年4月に策定された第2期帯広市総合計画において、「帯広の森」はまちづくりの主要な施策として明確に決定されました。その後、市議会での激しい論争、市民の気運の高まりなどを経て、事業がスタートしました。

<以上帯広市ホームページ 帯広の森はぐくむより転写>

### 【取り組みの現状】

「帯広の森」は昭和50年6月1日第1回市民植樹祭が開かれ、8.7ヘクタールに500人の市民より3,000本の苗木が植樹された。この活動は平成16年までの30年間事業を継続してきて、述べ148,000人の市民により、55種類の木を242,000本植樹した。初めの5年間は針葉樹を植えたが、それ以降は広葉樹に切り替えた。

30センチから50センチに育った苗木を3メートル間隔で植える。植樹して、5年間はねん2回下草刈を実施して整備をした。20年経過すると間伐、下草刈を実施。第30回の節目で市民植樹祭は終了している。

「帯広の森・はぐくむ」は、帯広の森の育成管理・利活用の拠点として建設した。

〒080-0856 帯広市南町南9線49番地  
TEL:0155-66-6200 FAX:0155-47-3622  
E-MAIL:info@haguku-mu.net

はぐくむについて

「帯広の森・はぐくむ」は、「帯広の森」の育成管理・利活用の拠点として建設しました。

この施設では、間伐などの森づくり体験、自然観察、木工、ウォーキング、ペレットづくりなどの行事を行うほか、「帯広の森」に関するさまざまな情報を発信します。

「帯広の森」の樹木は、30年にわたって行われた市民植樹祭などを通じて延べ15万人以上の市民の手により植えられたものです。

この「帯広の森」を育て楽しむための活動の場として、また自然に囲まれた憩いの場として、「帯広の森・はぐくむ」を是非ご利用ください。

### ●施設概要

構造・規模／木造平屋建 延床面積 364.36㎡

駐車場／普通車 44台(うち身障者用 2台)大型車 2台

付属施設／ペレット工房、倉庫、薪小屋など

施設名称／帯広の森・はぐくむ(市民公募)

開設時期／平成 22 年 4 月

### ●開館時間と休館日

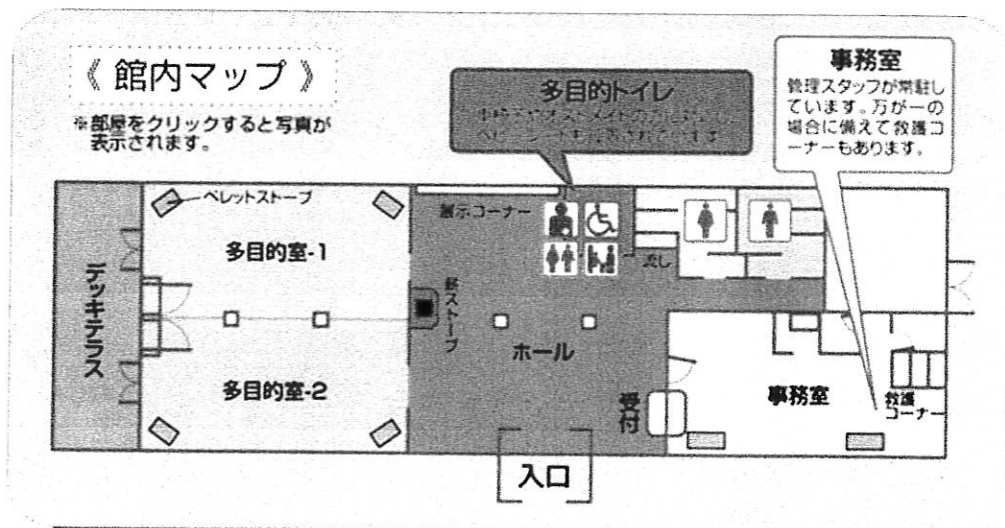
開館時間／4月29日～10月31日…9時～19時、11月1日～4月28日…9時～17時

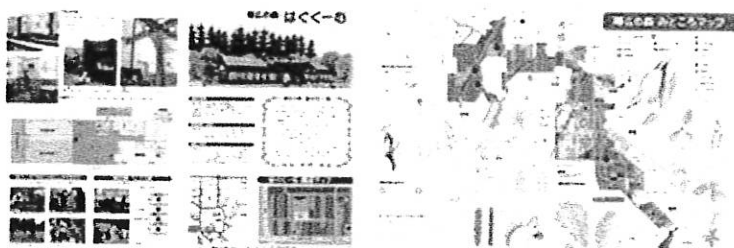
休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、祝日の翌日

### ●施設の特徴

環境配慮／薪ストーブ・ペレットストーブによる暖房、ペレット工房においてペレットを製造、ストーブの燃料は帯広の森の間伐材を利用、太陽光発電(約15kw)、LED照明(外灯)

木材多用／外壁や内壁の腰壁にカラマツ材を利用





Copyright 2010 帯広の森 はぐくむ. All rights reserved.

<以上 帯広市ホームページ より転写>

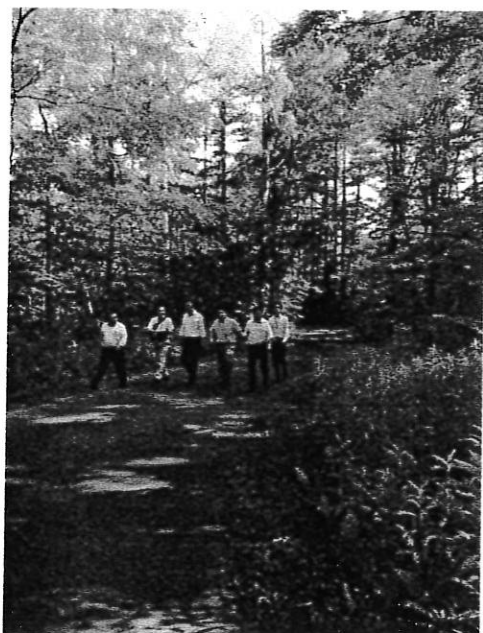
帯広の森・はぐくむはの施設利用者は、年間15,000人であり、指定管理者制度により運営している。委託料は年間2,700万円である。



研修



帯広の森を体験



帯広の森を体験



施設玄関前で

< 質疑 >

質問：帯広の森の年間整備費用はどのくらいか？

答え：40年間の整備費322億円、この中には122億円の土地購入費が含まれているし、スポーツ施設等の建設費も含まれる。

< 所感 >

「帯広の森」は市長の発案で昭和34年帯広市総合計画の中に盛り込まれ、まちづくりのテーマを「近代的田園都市」とした。その後同市長が昭和40年に「ウィーンの森」に出会ったことで「帯広の森」計画が具体化したと聞いた。すなわちトップダウンで始まったという。まちづくりの中でトップのビジョンは重要であると感じた。矢板市も自然が豊かだと言われるが、身近にある自然は無い、高原山に行けば体験できるが、車で30分以上も走らないとたどり着かない。眺める自然は雄大な高原山としてある、大切なのは身近で体験できる自然があることである。帯広市は北海道という大自然の中にある町であるが、なおかつ自然と共生するまちづくりをした、それも市民の手によって作ったということもすごいことです。矢板市も、もっと自然と共生するまちづくりに取り組むことができると良いと感じます。

## (2) 広尾町 『サンタランド』の取り組みについて

広尾町

面積 596.16 km<sup>2</sup> 人口 7,226 人 人口密度 12.12 人/km<sup>2</sup> 高齢化率 35.0%

気候 霧により夏は比較的涼しく、年間を通じた降雨量（降雪）は多いものの、昼夜の寒暖差も比較的少ないなど、海洋性気候の影響を受けて温暖な気候です。

町名由来 アイヌ語の「ピルイ」が語源と言われ、「ピ」は石が転がる、「ルイ」は砥石（といし）がと

れる地という意味です。

歓迎あいさつ：広尾町議会 議長 堀田 成郎

歓迎あいさつ：広尾町 副町長 田中 靖章

挨拶：矢板市議会視察団 団長 大島 文男

研修説明：広尾町議会事務局 事務局長 菅原 康博

：広尾町水産商工観光課 課長 雄谷 幸裕

## 【経過】

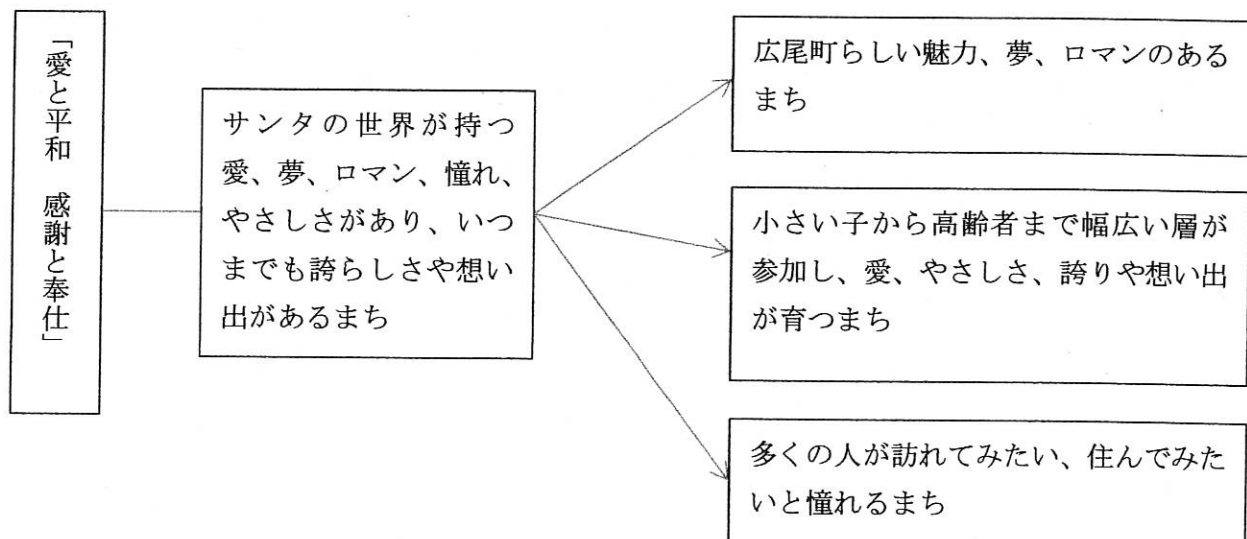
### 1. 広尾サンタランドの誕生

- ① 出発点 広尾海洋水族館とノルウェー・ベルゲン市にあるノルウェー国立ベルゲン水族館が姉妹提携
- ② きっかけ ノルウェーの首都オスロ市がノルウェー・サンタランド サンタクロス宛ての手紙に対し、返事のクリスマスカードを送付
- ③ 認 定 昭和59年11月にオスロ市長の署名入り認定書 広尾サンタランドの誕生
- ④ 基本理念 ノルウェー・サンタランドの基本理念

「愛と平和 感謝と奉仕」

広尾の水族館がノルウェーの水族館と姉妹提携が出来たのは、ししやもを手掛ける人が仲介人となって実現した。そして、当時の町長が広尾町の町づくりにノルウェー・サンタランドを決断した。

### 2. 広尾サンタランドの基本理念



<感じたところ>

町づくりの理念にサンタランドという具体的な事業を通じて具現化して掲げた内容が素晴らしいと思った。それは、「愛と平和 感謝と奉仕」です。そして、サンタランドの取り組みは一つのきっかけ水族館からはじまった。サンタランドは広尾町にもともとあったものではないが、新たなビジョンを町長が持ったところから始まっているので、この取り組み方は矢板のまちづくりにも参考になる。

## 【現状】

### 3. 広尾サンタランドの活動（ソフト）

#### ① サンタメール事業

昭和60年から31年間にわたり約207万通を国内外に発送

受付期間：11月1日～12月10日

配送期間：12月21日～25日

申込料金：1通500円

「子どもの夢を応援するプロジェクト」



親と暮らせない子供たちのクリスマスを応援

#### ② ツリー点灯式

平成18年から10月の第4土曜日～12月31日まで

約15万球のイルミネーション

町内会や事業所、個人宅でもイルミネーションの灯り

#### ③ ツリーの寄贈

昭和60年からトドマツのツリーの寄贈

東京、大阪、尼崎、甲府、多摩、札幌（15メートル、24年連続）

#### ④ 恋人の聖地

恋人同士が寄り添う空間として魅力的な恋人

結婚式をプロデュース

### 4. 広尾サンタランドの活動（ハード）

#### ① 北欧をイメージした街路樹の導入

#### ② 大丸山森林公園にログハウスを設置

#### ③ サンタランドデザインの街灯導入

#### ④ 町立病院をはじめとする施設に北欧風デザインの採用

#### ⑤ サンタの家改修

#### ⑥ サンタの部屋設置



- ⑦ サンタの鐘設置
- ⑧ 遊歩道の整備
- ⑨ イルミネーションの点灯
- ⑩ 花壇・花畑の造成
- ⑪ 案内看板の設置
- ⑫ メインシンボルツリーの設置
- ⑬ サンタの家周辺の整備
- ⑭ 「恋人の聖地」銘板の設置
- ⑮ イルミネーショントンネルの設置
- ⑯ イルミネーション誘導ツリー設置

## 5. 住民参加、活動団体等

広尾サンタランドを魅力ある地にするための様々な団体等が活動を行っています。

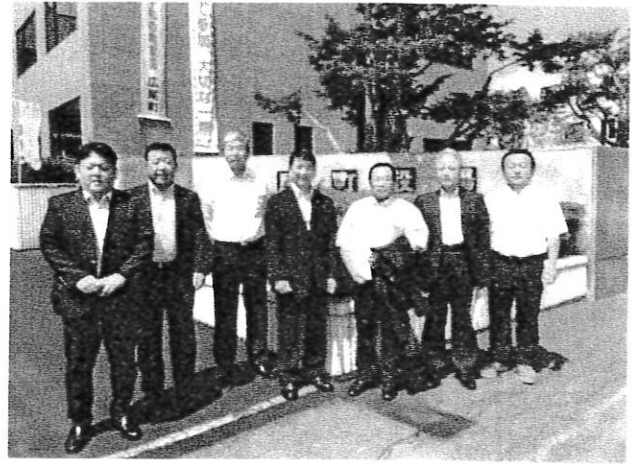
- ① 広尾サンタランド推進委員会
- ② 広尾スタイル・ウェディング
- ③ とかちサンタランドツリーの会
- ④ サンタ王国
- ⑤ グリーンハンドベルの会
- ⑥ 広尾町商店会、広尾町観光協会、広尾町町内会連合会
- ⑦ 広尾町北方圏交流振興会
- ⑧ 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



広尾町役場



副市長歓迎の挨拶 右は議長



役場での研修を終えて



議場で



大丸山サンタランド 恋人の聖地



広尾サンタランド サンタの鐘

### < 所感 >

8000人弱の町民規模のまちであるが、庁舎がとても立派でした。また、私たちの視察を快く受けてくださり、議長、副市長も歓迎して迎えてくださりました。そして、庁舎での研修が終わった後に、地元の特産のお土産までもいただきました。そして、サンタランドの大丸山に案内くださりました。サンタランドの現地視察は外でお天気も良かったので、冷たい飲み物も用意していただき至れり尽くせりのおもてなしをいただきました。

まちづくりにこのおもてなしの心が大切と思いました。特に研修で学んだことは、まちづくりに今まで何もなかったサンタランドを新しく取り込んだことです。そして、そのことをまち全体で取り組んだことが秘訣かなと思いました。

矢板市の場合も、新しいまちづくりのテーマを創造して取り組むことも可能なのだと思いました。町おこしになる何かきっかけを見出して、行政、市域、まち全体で取り組むことができたらと思いました。

### (3) 北広島市「輪厚スマートインター」の取り組みについて

北広島市

面積 119.05 k m<sup>2</sup>    人口 59,771 人    人口密度 502.06 人

北広島市企画財政部 都市計画課 課長 諏訪 博紀

他 3名の市職員

東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌管理事務所 所長 川俣 和久

東日本高速道路株式会社 北海道支社 総合企画部 総合企画課 課長代理 池田 浩基

輪厚スマートICにて視察研修を実施した。

① 輪厚スマートインターチェンジ概要について

- ・道央自動車道 北広島IC～恵庭IC間
- ・輪厚PA（上下線）
- ・全方向利用可能（札幌方面、函館方面）
- ・利用可能時間 6時～22時（16時間運用）
- ・ETC専用（一旦停止型）
- ・利用可能車種12mまでの全ての車種

② 開通までの経緯について

- 平成18年 7月 スマートIC制度実施要綱（旧要綱）通達
- 平成19年10月 輪厚スマートIC社会実験準備会設立
- 平成19年12月 輪厚巣アートIC社会実験計画書提出
- 平成20年 5月 スマートIC社会実験採択・・・・・・・・・・・・・・・・社会実験に向けて整備  
輪厚スマートIC社会実験協議会設立
- 平成21年 2月 スマートIC制度実施要綱（新要綱）の制定・通達  
輪厚スマートIC地区協議会設立
- 平成21年 3月11日 実施計画書：連結許可申請提出
- 平成21年 3月25日 連結・・・・・・・・・・・・・・・・本格運用に向けて整備
- 平成21年 5月26日 「輪厚スマートIC」名称決定
- 平成21年 5月28日 輪厚巣スマートIC地区協議会（第2回）
- 平成21年 6月29日 開通

③ 開通後の利用状況（1日の台数）

- 平成21年度 1039台
- 平成22年度 1355台
- 平成23年度 1476台
- 平成24年度 1662台
- 平成25年度 1919台
- 平成26年度 1825台
- 平成27年度 1878台 スタートから約1.8倍

④ 開通後の効果

○企業立地【近隣工業団地の企業活動を支援】

- ・輪厚スマートICには、大曲工業団地（120ha,164社）と北広島輪厚工業団地（39ha）が隣接している。
- ・両工業団地において交通の利便性を活かした企業誘致を行って完売である。
- ・企業側の意見として、営業活動や製品輸送への活用の声が多い。

- ・平日の時間別利用率では通勤時間帯の利用が多い傾向にある。

#### ○観光活性化【地域の観光産業に寄与】

- ・北広島市を訪れる観光客の75%はゴルフ場および宿泊施設を利用している。
- ・輪厚スマートIC開通により、高速IC10分圏内のゴルフ場及び宿泊施設は2.5倍に拡大し、バス事業者からも利便性向上を実感する意見を聞いている。
- ・地域の代表的なイベントであるゴルフ大会開催中には、(ほぼ毎年)年間最大利用台数を記録する。

#### ○救急搬送【緊急医療搬送を支援】

- ・輪厚スマートICの開通により、北広島市の住宅地である北広島団地から札幌市内の三次救急医療機関への搬送時間は3分短縮された。
- ・近隣消防署からは有効に活用されているとの意見をいただいている。
- ・平成22年度以降は、毎年100件を超える救急搬送に活用されている。

#### < 所感 >

輪厚スマートICが設置されることで、周辺地域委の利便性の向上がはかれ通勤時間の短縮、工業団地の交通アクセスの向上により工業団地の完売につながっている。また、観光面においても、IC周辺にはゴルフ場が5つと竹山高原温泉があり利便性向上により利用客が増えている。そして救急搬送など緊急車両の高速搬送につながり搬送時間の短縮につながっている。このような、輪厚スマートICの経過、効果、現状を学び、矢板北Pに接続するスマートIC建設決まり、今後の取り組みに対して市執行部と意見の交換<sup>間</sup>をしたい。

#### 追記

平成28年7月20日 (仮称) 矢板北スマートIC勉強会

都市建設課 阿部課長、谷中職員と視察に参加した7議員と勉強会を開催した。

# 視察研修・研修会等報告書

平成28年度 NO. 2

議席番号 ( 5 ) 議員名 ( 小林勇治 )

## 1. 期 日

平成28年9月25日(日)～9月28日(水) 3泊4日

## 2. 場所

島根県 海士町 ～ 岡山県 奈義町 ～ 鳥取県 八頭町

## 3. 視察・研修ルート及び移動方法

<一日目>

矢板駅(JR) → 宇都宮駅(新幹線) → 東京駅(新幹線) → 羽田空港(ANA383便)  
→ 米子空港(タクシー) → 境港市 視察：境港商店街 → 境港市泊

<二日目>

境港市(フェリー) → 海士町 定住について → 海士町泊

<三日目>

海士町(フェリー) → 境港市(レンタカー) → 奈義町 子育て支援について → 鳥取市泊

<四日目>

鳥取市(レンタカー) → 八頭町 地域再生計画を活用した農地転用の許可の特例について  
→ 鳥取空港(ANA1102便) → 羽田空港 → 東京駅(新幹線) → 宇都宮駅(JR) →  
矢板駅

## 4. 視察・研修事項

(1) 島根県海士町 『定住』について

取り組みまでの経過・現状・課題について

(2) 岡山県奈義町 『子育て支援』について

取り組みまでの経過・現状・課題について

(3) 鳥取県八頭町 『地域再生計画を活用した農地転用の許可の特例』について

取り組みまでの経過・現状・課題について

## 5. 視察・研修の内容と成果

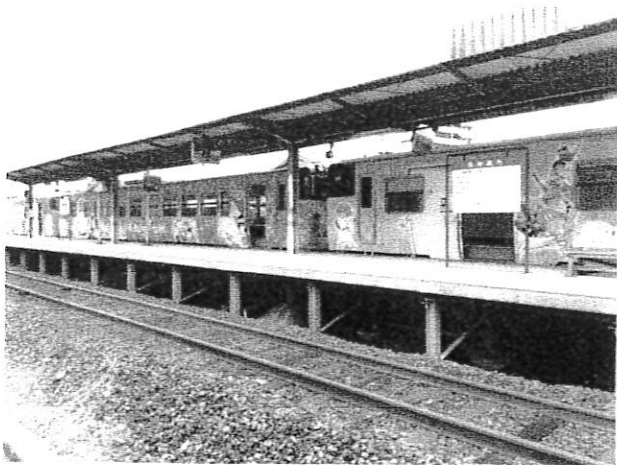
矢板市

面積 170.66 km<sup>2</sup> 人口 34,158 人 人口密度 372.32 人/km<sup>2</sup>

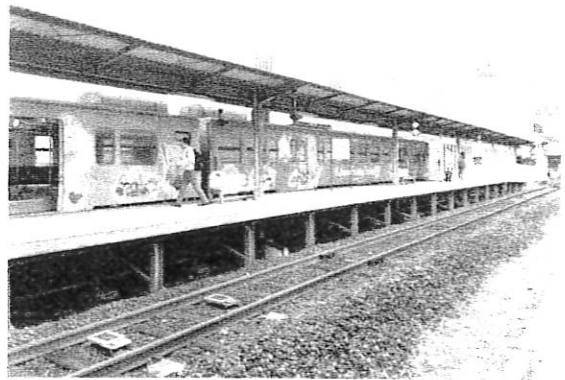
視察：境港商店会



境港は境港駅から商店街への道を「げげげのきたろう」の作者水木しげるロードとして町御こしに取り組んでいる。ロードの両沿道にはゲゲゲの鬼太郎に登場する妖怪がブロンズ像として建ててある。



JR 線 境港駅



JR 線 境港駅



JR 境港駅 水木しげるとゲゲゲの鬼太郎たち

## (1) 海士町 『定住』について

面積 33.52 km<sup>2</sup> 人口 2,374 人 人口密度 70.82 人/km<sup>2</sup>

歓迎のあいさつ：地産地商課長 大江和彦

(一般社団法人 海士町観光協会が窓口になって視察研修を実施)

13:30 菱浦港 観光協会集合 隣接のマリーナポートホテルに移動

13:45 全体の流れの説明・自己紹介

参加者の自己紹介をした。合同の研修会である。

鳥取県伯耆町常任委員会 8名と事務局

北海道別海町教育委員会 5名

矢板市市議会 4名

鳥取県立大学学生 4名

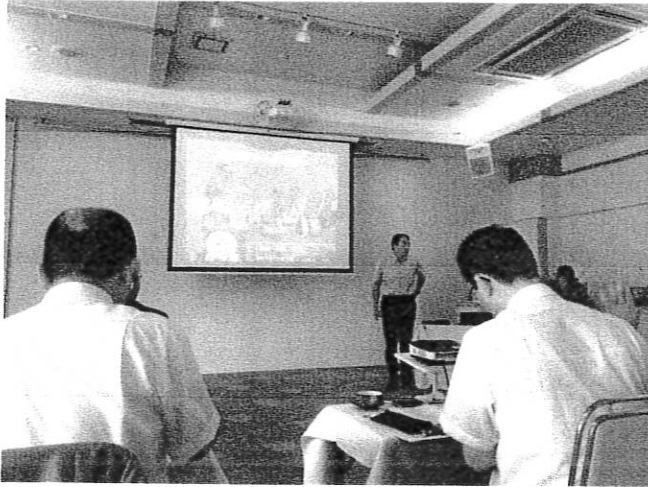
大阪在住 1名

14:00 研修 「 ないものはない ～離島からの挑戦

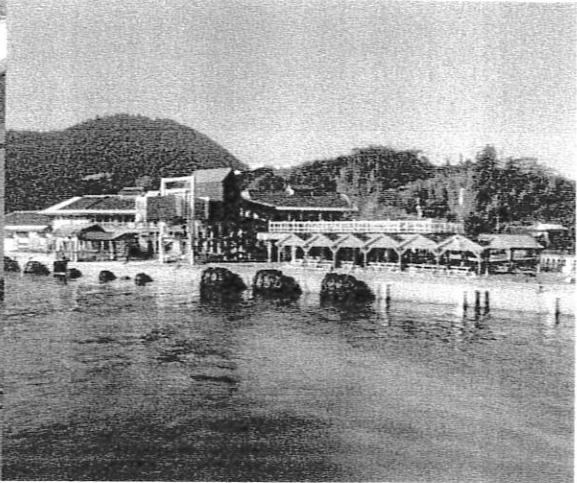
～最後尾から最先端へ～ 」

町政の経営指針『自立・挑戦・交流』～人と自然が輝き続ける島に～





研修



菱浦港（海士町観光センター）



合同研修



合同研修

① ≪選ばれし島・・・御食國・海士（みけつくに・あま）≫

■島根半島沖合60kmに浮かぶ隠岐諸島4島のうちの中ノ島を海士町といい1島1町の島。

交通は、本土から高速フェリーで2～3時間。冬場は季節風が強く吹くため海が荒れて欠航になり孤立化することがある。

■対馬暖流の影響を受け豊かな海、名水百選に選ばれた豊富な湧水を持ち、自給自足が出来る半農半漁業の島である。

■平城京跡から海士町の干しアワビが献上されていた木簡が発掘され、古くから海産物の宝庫として「御食國」に任ぜられていた。

■奈良時代から遠流の島とされていて、承久の乱（1221年）で、ご配流の身となられた後鳥羽上皇は、在島19年有余この島でご生涯を終えられた。

② ≪島が消える？・・・超過疎化・超少子高齢化・超財政悪化≫

■昭和25年ころ7000人近くいた人口も、平成27年10月の国勢調査では、2,353人に減

少。高校卒業後はほとんどが島外へ流出。生まれる子供は年に10人程度。現在の高齢化率は40.9%である。

■国の経済対策に呼応した公共事業への投資で社会資本整備がされた（離島振興法）。

その結果、住民の生活は改善が図れたが、体力以上に膨らんだ地方債。

・平成13年度末約101.5億円（ピーク時）あった。（平成27年度末は約85億円）

※このことは公共事業で生きて来た島、生かされてきた島そのものでもある。

■平成14年5月の町長選・・・地縁血縁を否定した町民の選択。

・先ず職員の意識改革から・・・役場は「住民総合サービス株式会社」である。

※地域経営は企業経営と同じである。

■意識を変えるには・・・年功序列を廃止して適材適所主義に、組織を現場主義に再編する。

※職員が地域を変える。

### ③ <<自立への覚悟と選択～単独町制>>

■平成の「大合併の嵐」が吹く中、島嶼間合併は、そのメリットが活かされないことから、平成15年12月任意合併協議会を解散。覚悟の単独町制を決断する。

※自分たちの島は自ら守り、島の未来は自ら築く」という住民や職員の地域への「誇り」と「気概」が、「自立への道」を選択させた。※これは自治の原点である。

■ところが、ある日突然国による「三位一体改革」による「地財ショック」が襲い、町税に匹敵する地方交付税の大幅な削減は、島の存続さえも危うい緊急事態に直面する。

・当時のシミュレーションでは、平成20年には確実に「財政再建団体」へ転落の危機が予測された。

■そこで、住民代表と町議会と行政が一体となって、島の生き残りをかけた「海士町自立促進プラン」を策定（平成16年3月）する。

・それは人口を基軸とし行財政改革によって「守り」を固める一方で、「攻め」の方策として新たな産業創出を強力に推進する戦略の両面作戦である。

### ④ <<生き残りのための守りの戦略…短期作戦>>

■守りとは、徹底した行財政改革を断行することである。

※町長が「自ら身を削らない改革は支持されない。」の信念で給与カットを宣言すると、管理職が続いてカットを申し出る。

■給与カットは平成16年度から、町長以下助役、教育長、管理職、そして議員から始まったが、職員組合からも自主カットの申し出があり、10月から実施する。※「先憂後楽」の精神は公務員の基本姿勢である。

・職員や議会からカット分の一部を具体的に見える施策に活かしてほしい旨の提案を受け「すこやか子育て支援条例」を制定（平成16年10月）する。更に拡充改正（H19.6,H21.3、H22.3、H27.3）、あとは産業振興に充てる。

結婚祝金 5万円

出産準備金 10万円

町外出身妊婦の里帰り出産の交通費助成 限度5万円

第一子	10万円
第二子	20万円（2回に分割支給）
第三子	50万円（3回に分割支給）
第四子	100万円（5回に分割支給）

引っ越してきたとき

転入児童生徒等奨励金 18歳以下の児童等が転入してきたとき1名につき5万円支給  
 新築住宅 1DK 2万円 2DK 2.5万円 2.8万円 で利用できる。

#### 行財政改革の削減効果

■平成17年度人件費の削減効果 約2億円

- ・三役の給与カット ▲50%～40%
- ・職員の給与カット ▲30%～16%（平均22%）

□ラスパイレル指数 72.4%（全国最低値）

■平成18年度も給与カットを続行を職員組合と確認。

■平成19年度予算の基金取り崩しなし。収支バランスは改善に向かい、職員の給与カットを5%復元して▲23%～10%に。職員の12月期末勤勉手当はカットなしで支給。

■平成20年度一般会計当初予算基金の取り崩しなし。職員給与2%復元し▲21%～10%カットに。

■平成21年度は、職員給与を2%復元し、▲19%～8%に。副町長、教育長、議会議員は20%復元して▲20%に。区長は5%復元して▲5%カットに。

■平成22年度は、職員のカット率を15%～5%にし、23年度はそのままのカット率で、平成24年は協議の結果11.3%～2.8%に。平成25年度からは、職員のカットは0としたが、管理職については強い申し出があり8%カット、その後平成26年度から5%カットを続けている。町長は、四期目も30%カット平成30.5.30まで。

#### ⑤ <<生き残りを懸けた攻めの戦略・・・中・長期作戦>>

「攻め」とは地域資源を活かし、第一次産業の再生で島に産業を創り、島に雇用の場所を増やすことで、外貨を獲得して、島を活性化すること。

□そのためには「現場第一主義」の体制づくり・・・内部部局の職員を減らし、その分を産業振興と定住対策のセクションに重点シフト。

※答えは常に現場にある・・・五感を最大限使い、第六感を働かせる。

#### 地域再生戦略～島まるごとブランド化で地産地商

■第三次総振の、人づくり・モノづくり・健康づくりの3本柱をベースに、「地域再生計画（海士パートナーメントストアプラン）を策定。

■あらゆる支援処置を活用して、自然環境を活かした第1次産業の再生で先駆的な産業御こしに取り組む。

※島が生き残る道はそこにしかない。

□その産業振興のキーワードを『海』・『潮風』・『塩』の三本柱に地域資源を有効活用し、異なるもの同

士をつなぎ究極のふるさと振興を目指す。

※ハードルの高い厳しい評価が下される東京で認められればブランドにという考えから、メイン・ターゲットを最初から東京に置いた。・・・東京で認められブランドに。

**島ブランドを売り出せ！キーワード『海』～豊かな海～**

■第1弾が「島じゃ常識！さざえカレー」の登場。島の食文化を商品化して大ヒット商品となる。

＜キーマンは、商品開発研修生＞

□それまで商品価値のあることすら気づかなかったものが、外からの目で見れば驚きとともに新鮮な魅力と映る。良い見本となった。

■第2弾は、種苗の生産から育成・販売まで一貫生産を目指し、U・Iターン者と地元漁師が協力して、「隠岐海士のいわがき・春香」の養殖に成功。

**島ブランドを売り出せ！キーワード『潮風』～大地はミネラル～**

公共事業の減少により、建設業を営む経営者が異業種参入を決意。

隠岐牛の飼育に取り組む。

**島ブランドを売り出せ！キーワード『塩』～モノづくりの原点～**

■ミネラル豊富な本物の「海士乃塩」から始まる島国らしい産品づくりの推進。

⑥ 《各種事業の有効活用》

⑦ 《町の支援策》

⑧ 《産業振興策の効果・・・いま島に若者が》

さまざまな政策が推進され、それらが総合的にあいまって若者が島に移住してきた。

■島での就職や起業、島暮らしの運動を展開した結果

□356世帯、521人のIターン者が海士町に定住・・・「信頼できたから」「宝物があるから」「職員の対応がよかった」など、平成27年度末現在、定着率54.61%・・・人と自然が好きで、独力でチャレンジする人が多い。

出身地別 I ターン世帯数									
北海道	6	東北	5	関東	106	東海	8	信越	3
近畿	86	中国	104	四国	6	九州沖縄	30	外国	2

※総人口では増えないが、活力人口が増えたことによって人口構成のバランスが良くなった。

※都会の若者は、自分が活躍の「ステージ」を求め、また島は「やる気」と「スキル」のある若者を求めている。それがうまく融合して島の新しい力に発展している。そして彼らはみな高学歴でキャリアを落ち合わせていることも特徴的である。…若者・よそ者・馬鹿者が島おこしの原動力になっている（Uターン204人）。

※それは島に仕事があるから来るのではなく、島の宝探しに、そして島のために何か役立ちたい、起業したいという高い志と思いの強い若者たちである。・・・40歳以下の生産年齢層が増えてきた。

※島の新しい「風」と「力」は、いま地元の若者とIターン、またIターン同士とのカップルが次々と誕

生して、「縁」から始まった交流は「血縁」という確かな絆へと変化している。

■直近の（平成28年3月末現在）住民総人口は2,298人で、世帯数1,145世帯、高齢化率は40.9%である。

#### 《 所感 》

島の陥った危機を、ピンチはチャンスと開き直り、町長をはじめ職員、議員、区長、老人会など島民が一丸となって取り組んだことにより、全国から視察が絶えない島に復活したと思いました。

このような海士町の取り組みが、都会の若者のこころを刺激して海士町に移住してくる若者がここ10年あまりで521名にもなったという驚きの結果である。

今回の研修の「ないものはない～離島から挑戦～というテーマがなるほどそうなんだと思えた。研修を受ける前は、本島から日本海に60kmも沖合にある隠岐の島にある町ということで、どのような活動をして若者が移住してくるのかなと思っていた。

しかし、研修で大江和彦地産地商課長の説明を聞き終えて、「ないものはない」という事が理解できたような気がした。それは、島という立地条件を考えると何も無い場所であると思ってしまう。しかし、そうではなかった。何も無いのではなく無い物は無いのだと。足元にある宝の発見、創意工夫で町は生き返った。

矢板市で若者の定住促進を促す施策として、U・Iターンの重点的な取り組みが必要である。

## （2）岡山県奈義町「子育て支援」について

人口：6,147人 面積：93.22km<sup>2</sup> 人口密度：93.22人/km<sup>2</sup>

あいさつ

- ・ 奈義町議会議長 小阪 史郎
- ・ 矢板市議会議員 大島 文男

出席議員 奈義町議会議員 桑村 由和  
奈義町議会議員 岡 親佐

奈義町議会事務局 局長中井 正和

研修「奈義町定住・子育て支援対策」にて  
奈義町総務課情報財政班 主事長畑 光洋  
チャイルドホーム 利用者2名（女性）



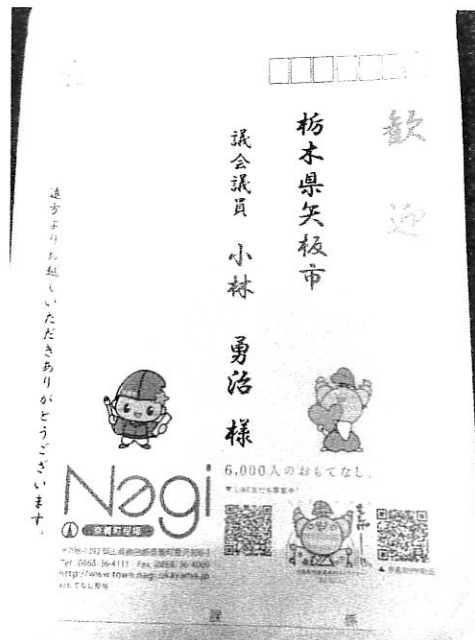
玄関での歓迎掲示板



研修室での横断幕で歓迎



チャイルドホーム利用者 2名の出席



心遣い



研修最後まで奈義町議員議長と2議員が参加。

## 活力と笑顔が溢れるまちづくり

### 【奈義町の概要】

昭和30年 2月 3村合併により「奈義町」が誕生

平成14年12月 合併の是非を問う住民投票を行い「単独町制」を決定

平成24年 4月 子育て応援宣言

面積：69.52km<sup>2</sup>（東西約9km/南北10km）

人口：6,182人（平成28年4月1日）

特色：自衛隊（日本原駐屯地 日本原演習場14.66km<sup>2</sup>・奈義町分11.9km<sup>2</sup>）

## 奈義町の文化と観光資源

■江戸時代から継承される県無形民俗文化財 【横仙歌舞伎】

■中国山脈の秀峰【国定公園那岐山】

■樹齢900年を越える国の天然記念物 【法然上人お手植え：西日本一の菩提寺のイチョウ】

■磯崎新氏プロデュース【奈義町現代美術館】

■奈義町の食材が味わえる【那岐山山麓の駅】

## 奈義町の課題と対策

課題：人口減少・少子高齢化

(合併当時 8,925人 平成元年7,879人 平成28年6,182人)

対策：定住促進のための

- ・住宅施策
- ・就労の場の確保施策
- ・子育て支援施策

目標：今後も現在の人口数を維持する。

## 合計特殊出生率「2.81」の達成！

～日本一（全国の市町村の過去5年間比較）級となりました～

■若者定住施策

■就労対策

■独自の子育て支援策

積極的に進めた結果

➡ 平成26年の合計特殊出生率が、岡山県第1位、全国でもトップクラスの「2.81」という快挙を達成しました。

このことが話題となり、NHKで全国に放送されました。

放送：平成28年2月20日（土）21：00～NHK総合

## 定住化に向けた住宅施策【分譲地の整備】

- 金剛田住宅 H7.7.3 11区画 完売
- つくし団地 H14.9.2 16区画 完売
- 御崎野団地 H12.3.1 37区画 5区画残
- 豊沢中央団地 H23.7.11 9区画 完売
- 西ノ谷団地 H9.11.4 9区画 1区画残

若者の定住を促進するために、景観豊かな土地に分譲地を造成しています。

## 分譲地の状況

平成3年10月西谷団地 H3.10.11 5区画 完売から始まり上記5団地での分譲開始。

合計87区画分譲して81区画が販売済み販売率93%である。



分譲地の状況

	西谷団地	金剛田団地	西ノ谷団地	御崎野団地	つくし団地	豊沢中央団地	合計
分譲開始	H3.10.11	H7.7.3	H9.11.4	H12.3.1	H14.9.2	H23.7.11	
分譲完了	H3.11	H8.7	分譲中	分譲中	H26.1	H25.11	
分譲区画数	5	11	9	37	16	9	87
分譲済み	5	11	8	32	16	9	81
残区画	0	0	1	5	0	0	6
分譲率	100%	100%	89%	86%	100%	100%	93%

- ・分譲地紹介報奨制度（30万円）
- ・新築住宅普及促進事業補助金  
（町内新築20万円、地元業者施工20万円、県産材利用10万円 合計50万円）
- ・住宅太陽光発電システム設置補助金（1kwあたり3万円 上限12万円）

定住化に向けた住宅施策【賃貸住宅の整備】

区分	若者住宅			定住促進	合計
	ユースメゾン奈義	パークサイド奈義	グリーンビレッジ奈義	センタービレッジ奈義	
入居開始	H23年6月	H26年3月	H27年3月	H27年3月	
戸数	4戸	5戸	12戸	60戸	81戸
住宅形態	集合	戸建	戸建	集合	
居室の状況	2LDK×2 3LDK×2	3LDK×4	3LDK×4	3DK	
月額家賃	2LDK：45000円 3LDK：50000円	50000円	50000円	1～2階：30000円 3階：25000円 4～5階22000円	
入居状況	4戸（満室）	5戸（満室）	12戸（満室）	59戸	80戸
入居率	100%	100%	100%	98%	98%
参考：入居者数	12人	17人	30人	128人	190人

企業誘致

19区画 完売

## 子育て支援のすがた（平成28年4月1日現在）

- H17年 出生数 37人 合計特殊出生率1.41
- H24年 出生数 52人 合計特殊出生率2.11
- H25年 出生数 43人 合計特殊出生率1.88
- H26年 出生数 60人 合計特殊出生率2.81
- 保育所・小学校・中学校各1 幼稚園2 子育て支援施設1  
介護認定者数 368人 介護認定率 18.2%
- 診療所・歯科医院各2 特養1 GH2 小規模多機能1
- 通所介護事業所2 居宅介護支援事業所2
- 保健師2人 栄養士1人 社会福祉士1人

## 奈義の子育て関係施設

- 奈義町保険相談センター
- 子育て等支援施設なぎチャイルドホーム
- 保育園
- 中央東幼稚園
- 滝川つくし幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 医療関係 奈義ファミリークリニック 野々上医院

## 奈義町子育て応援宣言

平成24年4月1日

## 奈義町の子育て支援施策

- 単町事業 高等学校等就学支援金交付事業  
保護者に負担のかかっている高校生の就学支援策として、通学費の一部助成を含め生徒1人当たり年額9万円を3年間支給。
- 単町事業 出産祝金交付事業 平成16年度～出産祝金支給条例  
奈義町に住所を有し、出産児に一人当たり支給  
第1子・10万円、第2子・15万円、第3子・20万円、第4子・30万円、第5子以降・40万円

#### ■単町事業 保育料多子軽減等事業

保育料は第1子を国の基準の55%に軽減。第2子半額。第3子以降無料。第1子は高校生からカウント。

#### ■単町事業 在宅育児支援手当交付事業

平成28年度から、在宅で育児する保護者に該当児1人当たり月1万円を交付（生後6か月～幼稚園入園前まで）

#### ■単町事業 奈義町育英金

勉学意欲がありながら経済的理由により就学が困難な大学生等に対し、育英金を無利子で年額36万円を貸付。卒業後に町に居住することで、最大半額の返済免除あり。

#### ■県補助事業 病児・病後児保育事業

奈義ファミリークリニックで病児及び病後児の一時預かり保育を実施。

#### ■奈義チャイルドホーム

つどいの広場「ちゅくしんぼ」、子育てサポート「スマイル」、親子クラブ等の活動の場、乳幼児・園児・児童・高齢者の交流の場。利用料無料。対象者：乳幼児から高齢者。

#### ■一時保育

保護者が仕事、出産、病気等の事情により、家庭保育が困難な場合に保育を行う。就労形態等による場合は週3日以内、入院・病気等による緊急児は月12日以内。

1,800円/人・日 対象者：1歳以上4歳未満。

#### ■幼稚園育児支援

幼稚園終了後、家庭保育が困難な園児を預かり、遊びを通じて自主性、創造性を養う。

月曜日～金曜日（祝日は除く）、午後1時30分～午後6時

（夏休み等は、午前7時30分～午後6時まで）

6,000円/人・月 2子半額、3子無料。 対象者：在園児（小学1年生もあずかる）

#### ■小学校なご放課後児童クラブ

放課後等、家庭保育が困難な児童に生活指導を行う。

月曜日～土曜日（祝日等は除く）、午後1時30分～午後6時

（夏休み等は、午前8時30分～午後6時）

6,000円/人・月（10日未満は300円/人・日） 対象者：在学児童  
実際に取り組んでいる事業は全部で24事業あるが、一部を記載した。

## 地域ぐるみで子育て！

## 合計特殊出生率2.81達成の鍵は“安心感”

#### ■子育ての負担が軽くなって安心

（町が出生から大学卒業まで経済的支援）

#### ■子育ての悩み相談が出来て安心

（チャイルドホームを中心に様々な人と）

#### ■町のみんなが子育てを応援してくれて安心

(登下校の見守り、学校支援ボランティアなど)

■住むところがあって安心

(若者住宅、グリーンビレッジ奈義など)

< 所感 >

全国一の合計特殊出生率を打ち出した奈義町に訪問させていただいて、今までにないおもてなしをいただきました。写真に掲載しましたが、玄関の案内板、会議室の歓迎の横断幕、封筒の個人名記載、そればかりか通常は議長のあいさつが終わると退席されますが、奈義町は議長とほかに2名の議員が最後まで参加されました。また、担当課職員のほかに一般町民2名の方も参加されて、施設利用の状況を利用者の立場から意見を述べられるようにしてくださりました。

研修内容については、どこの市町村においてももちろん矢板市でも、子育て支援は力を入れて施策を策定している。そして、同じような取り組みを盛り込んでいるわけですが、何故奈義町は少子高齢化・人口減少という全国どこでも抱えている課題に対して、風穴を開けることが出来たのか？子育て支援の政策が、個々の政策に終わらない工夫にあるのではないかと考えさせられました。

笠木奈義町長は、平成26年度特殊合計出生率についてのコメントの中で次のように述べています。平成24年に、「子育てするなら奈義町で」というキャッチフレーズのもと、「奈義町子育て応援宣言」を行い、出産祝い金の交付や、多子世代の保育料軽減、預かり保育支援、子育て支援施設の整備、さらには、高校生までの就学支援や医療費助成など、妊娠出産期から、乳幼児期、就学期まで、子育てする家庭の立場に立った、切れ目のない支援を行ってきたところでした。

以上町長のコメントであるが、安心して子供を産み、育てられる環境を整備（経済の支援、住居、仕事、子育て環境、地域）しているところは、本市において学ぶ点があると思いました。

### (3) 鳥取県八頭町 「地域再生計画を活用した農地転用の許可の特例事例の

#### 取り組みについて」

人口：17,719人 面積：206.71km<sup>2</sup> 人口密度：85.71人/km<sup>2</sup>

#### 町長室

八頭町 町長 吉田 英人

八頭町 副町長 岩見 一郎

八頭町 議長 谷本 正敏

八頭町 産業観光課課長 矢部 雅彦

八頭町 地方創生監 角園 太一

八頭町 産業観光課 課長補佐 岩城 憲治



地域再生計画の事例見学 「大江の里自然牧場」平成28年4月オープン農家レストラン

## 地域再生計画を活用した農地転用許可の特例について

### ① 取り組みの経緯

■（有）ひよこカンパニーは、自社ブランドの「天美卵」を使ってスイーツの開発・販売、カフェの営業をおこなっており、年間10万人を超える来場者数がある。平成27年度には地域農産物加工施設、加工品直売所、農家レストランの複合施設を予定しており、来場者数も23万人を見込んでいる。このため、現在ある駐車場では到底足りない状況である。（有）ひよこカンパニーより、現在ある施設の周りの農地を駐車場に出来ないかという相談があった。しかし、駐車場にしたい農地は、圃場整備がなされた第1種農地のため、原則転用不可であり、駐車場にはできない。

■鳥取県経営支援課に相談したところ、このたび、地域再生法の一部改正により、地域再生計画を策定し、国の認定を受ければ6次産業化の施設整備をする場合には、農地転用の特例が適用され、農地転用が可能になるということだった。しかし、地域再生計画の認定だけではだめで、「振興施設整備計画書」を作成して県知事の同意を得なければならない。県知事の同意を得てようやく農地法と農振法の特例を受けることになる。しかし、農用地区域からの除外手続きはおこなわなければならない。

■八頭町では、人口減少、高齢化が進み、町内総生産、町内就業者数なども減少が続いており、今後も少子高齢化、人口減少が進むことが予測されている。このため、地域再生計画を策定することによって、地域農業の振興、地域の活性化、雇用の拡大につながると考える。

### ② 手続きの流れ

	計画等	年月日	内容	備考
1	地域再生計画の策定	H27.9.16 H27.11.27	地域再生計画の申請（内閣府地方創生室へ） 地域再生計画の認定（内閣総理大臣より）	【担当部署】 内閣府地方創生推進室
2	地域農林水産行 振興施設整備計画の作成	H27.12.1 H27.12.22 H27.12.28 H28.1.8 H28.1.8 H28.1.18 H28.1.18 H28.1.19	八頭町地域再生協議会設置運営要領制定 第1回地域再生協議会開催 ・構成員 8名全員出席 第2回地域再生協議会開催（書面開催） 構成員の同意（書面により8人全員の同意） 知事協議申請（鳥取県経営支援課へ） 知事の同意 計画の認定 地域農林水産振興施設整備計画書の作成に係る通知（ひよこカンパニーへ）	※通知は転用許可書にかわるもの
3	農業振興地域整備計画の変更（農	H28.1.12 H28.1.26	県との事前協議 県との事前協議終了	

用地区域から除外)	H28.1.19	公告縦覧	30日(2月25日まで)
	H28.2.26	異議申し立て	15日(3月11日まで)
	H28.3.14	県との本協議	
	H28.3.15	県との本協議終了	
	H28.3.15	公告	

## 6次産業化に資する施設整備に係る農地転用

農林水産物の生産・加工・販売等(6次産業化)のための施設を整備する場合、農地転用に関する特例を適用

6次産業化に資する施設整備に係る農地転用許可の特例の内容

- 農地以外の用途に転用が原則許可されない農地(第1種農地など)であっても特例的に転用が可能。
- 通常、転用に都道府県知事の許可が必要な農地(第2種農地など)についても、個別の施設整備計画に対する同意を受ければ、許可を受けたものとみなして農地転用が可能となるため、事業手続きが簡素化。

### 【対象となる主な施設】

- 育苗施設、きのこ生産施設 水産動植物の養殖用施設
- 農畜産物処理加工施設、木材処理加工施設、水産物処理加工施設
- 直売所
- 農林漁業体験施設、農林魚家レストラン
- 農産物集出荷施設、貯木場、水産物保蔵施設
- たい肥舎、農機具格納庫、漁業用作業保管施設
- 糞がら処置施設
- バイオマス発電施設
- 木質バイオマス燃料製造施設
- バイオマス熱供給施設

### 【鳥取県八頭町の計画】

現時点の地域の課題

- 町内の耕作放棄地は直近2年間(H24-H26)で27%増と急増しており、農業振興・維持が課題。
- 町内有数の成長産業である事業者(従業員数H23:53人→H26:84人)の取り組みを支援していくことは、町の農業・観光業の推進の観点から重要。

計画に基づく事業成果 —民間の農業振興施設の整備支援—

- 農産物加工施設、販売所、農家レストランなどが入った複合施設の新設と既存のカフェの拡張等を—

体的に整備。

○通常、農地以外とすることができない第1種農地を含めて一体的に整備することにより、農産加工品の販売促進、来客増加を図る。

この後、「大江の里自然牧場」の現地視察を実施。

#### < 所感 >

農振地域の除外は難しい課題である。今回八頭町の農振地域除外の特例事例の視察を行ったが、すんなりと除外できるというわけにはいかない。八頭町の場合は、核になる「大江の里自然牧場が」すでに六次化産業に取り組んでいて、雇用もして産業として成り立っていた。そこに、事業をさらに拡大するにあたり、農業と観光を組み合わせた6次産業化の拠点づくりとして、農産物加工施設、販売所、農家レストランなどが入った複合施設を整備する。これに合わせて、特例を利用して隣接のカフェや駐車場の整備をした。この駐車場に農振地域の除外特例を活用したのである。

矢板市においても、農振地域の指定が開発の足かせになっている場合がある。矢板那須線が開通したが、その道路は農振地域の指定がかかっているので開発ができない状況にある。しかし、出来ないでは発展が見込めない。矢板市が「地域再生計画」をもって都市建設の計画を練り上げる過程で「農振地域除外」が可能になってくるのかという感触を得た。



# 視察研修・研修会等報告書

平成28年度 NO.3

議席番号（ 5 ） 議員名（ 小林勇治 ）

## 1. 期日

平成29年1月26日（木）～27日（金）

## 2. 場所

山梨県北杜市 ～ 長野県松本市

## 3. 視察・研修ルート及び移動方法

<一日目>

矢板駅（JR）→ 宇都宮駅（新幹線）→ 大宮駅（湘南新宿ライン）→ 新宿（特急あずさ11号）→ 甲府駅（レンタカー）→ 北杜市『企業の農業参入について』→ 松本市泊

<二日目>

松本市 → 松本市役所 『健康寿命延伸都市・松本 「人の健康について」』 → 松本駅（JR 特急ワイドビューしなの）→ 長野駅（新幹線はくたか）→ 大宮駅（新幹線やまびこ）→ 宇都宮駅（JR）→ 矢板駅

## 4. 視察・研修事項

（1）山梨県北杜市 『企業の農業参入』について  
取り組みまでの経過・現状・今後の課題について

（2）長野県松本市 『健康寿命延伸都市・松本 「人の健康」』について  
取り組みまでの経過・現状・今後の課題について

## 5. 視察・研修の内容と成果

矢板市

面積170.66km<sup>2</sup> 人口33,482人（平成28年12月）人口密度196人

## (1) 北杜市『企業の農業参入』について

面積602.48km<sup>2</sup> 人口48,042人 人口密度79.74人/km<sup>2</sup>

担当

北杜市農業委員会 事務局 福田和久

### 【 北杜市の概況 】

北杜市は、甲府盆地の北西部に位置する「明野村、須玉町、高根町、長坂町、大泉村、白洲町、武川村」の4町3村が平成16年11月1日に合併した、人口約4万8千人の市である。

総面積は、602.89km<sup>2</sup>で、県の総面積の13.5%を占め、県内で最も面積の大きい市である。土地利用状況は、農用地が8,414ha(14%)で、森林等が45,979ha(76%)と森林の占める割合が多い地域である。

### 【 北杜市の農業 】

北杜市の農業の特異な取り組みは以下の点である。

特に新規就農者の確保、担い手農家の大規模化・組織化を図ることにより法人化を推進し、また、企業の資本投下による企業の農家参入を最重要課題とし、担い手が効率的な農業経営に取り組めるよう、圃場整備を始めとする農業生産基盤整備や農用地等の保全整備に係る各種事業を推進し、集団化した優良農地の確保・保全を積極的に進めている。

### 【 北杜市への企業参入 】

現在17社が参入を決定し事業着手している。

参入のきっかけは、近年、食の安全・安心を求める消費者の考え方の変化が現れてきていること、そして、20年前から「耕作放棄地の解消」と「農地の集団化」を図る基盤整備に、農地保有の合理化を図る組織（（公財）北杜市農業振興公社）の立上げを組み合わせた事業展開を行ってきたことによる。平成22年に最初の企業の施設整備が開始された存在が目玉され、さらに、北杜市が持つ気候的・環境的な優位点が認知されたのではないかと北杜市では受け止めている。

#### ■北杜市の気候的・環境的優位点（8つの特出すべき特徴）

- ① 日本一の日照時間の長さ。（北杜市2,669時間 全国平均1,927時間）
- ② 日本のミネラルウォーターの約30%を産出するとされる名水の郷。
- ③ 盆地特有の昼間の温度と夜間の温度の差、寒暖の差が大きいことによる作物の食味が上がる。
- ④ 施設栽培で課題とされてきた夏期の生産が夜温が低いことで可能となり、品薄の夏場に作物を出荷できること。
- ⑤ 内陸性の気候で大きな台風等の気候災害が比較的少なく、また、地震などで大きな被害を受けていないこと。
- ⑥ 首都圏域から100km圏（車で約2時間）、名古屋圏域から150km（車で約3時間）という交通アクセスの良さ。
- ⑦ 醸造用葡萄栽培に関しては、地球温暖化により、栽培適地の標高が上昇してきていること。

- ⑧ 耕作放棄地になっている「桑園跡地」が連担しており、企業が望むような大規模な圃場の確保が可能となっていること。

■企業の農業参入に当たっての関係機関の連携

北杜市の全ての参入事例について、山梨県・北杜市・(公財)北杜市農業振興公社と連携を密にし、土地改良事業の計画・実施、栽培方法の指導、地権者との交渉・調整、その後の農地の有効利用の推進などを行っている。

また、平成26年度からはじまった、農地中間管理事業を活用し、地域での話し合いを充分に行い、参入する企業等を中心的な担い手として位置付けた「人・農地プラン」を作成し、出して・借りて双方にメリットがあることにより、農地集積を円滑に進めている。

【 企業の農業参入が可能となるケース 】

これまでに企業参入が実現したケースについて、ある程度の類型にまとめられます。

■パターン1

県営事業等で圃場整備を計画し、地権者の同意が得られたため法人が進出できた。

■パターン2

進出希望の法人が、予め参入箇所を見定め、市等の協力を得ながら地権者の了解を取り付けた。

■パターン3

市が把握している遊休農地を進出希望法人に紹介し、法人の構想が実現できる規模だったため、地権者とマッチングできた。

■ポイント

遊休・荒廃農地で2～4ha以上の農地が連担しているケースにおいて、法人が進出している。

■北杜市に新規参入した(予定している)法人の概要

①イオンアグリ創造・・・明野町小笠原地区(関連会社・・・イオングループ)

山梨県・北杜市と包括連携協定を締結し、地域農産物や地元活性化を行っている。野菜栽培(約14ha)、レタス(約2ha)、キャベツ(約8ha)の露地栽培を行っている。

②株式会社村上農園・・・明野町永井原大規模野菜団地

広島県に本社を置く「スプラウト(発芽野菜)」を栽培する企業です。山梨生産センターでは「豆苗(えんどう豆の若い葉と茎を食べる緑黄色野菜)」を栽培しています。施設規模は2.7ha

③有限会社アグリマインド・・・明野町永井原大規模野菜団地(関連会社・・・カゴメ株)

アジアで初めて導入されるオランダ型の最先端の技術でトマトを約2haの施設で溶液栽培を行う。カゴメと技術提携・販売提携を行っている。全国のカゴメ系統の菜園の中で、栽培一年目で74トン(通常の目標は30トン)の反収を上げNO.1となる。

④明野九州屋ファーム・・・明野町永井原大規模野菜団地（関連会社・・・九州屋）

明野九州屋ファームは訳33,000㎡の敷地に、管理棟合わせて21,000㎡弱の溶液栽培のハウスを建設し、トマトの溶液栽培で10アール当たり年30トンの収穫を目指す大規模農場。母体の九州屋はデパートの地下などに入る生花店。北海道から沖縄まで全国80店舗を展開している。

⑤ミサワイナリー・・・明野町上手地区永井原工区（関連会社・・・中央葡萄酒）

明野町内に自社圃場約12haで醸造用葡萄の栽培を行っている。平成17年に明野町永井原にワイナリーを開設した。2014国際ワインコンクールで「キュヴェ三澤明野甲州2013」が国産ワインとして過去最高位である金賞の評価を得ている。

⑥ハイチック・・・明野町浅尾地区天王原圃場

明野町天王原（約4ha）で養鶏を行っている。3期に分け合計36万羽飼育。自社で発酵飼料の開発を行っており、その飼料を加えた餌を鶏に与えていて、この餌を食べることにより、ボリスブラウンという品種の鶏が産む茶色のたまごは、まろやかで甘味のあるたまごになるそうです。

⑦㈱ベジワン北杜・・・明野町天王原工区（関連会社・・・㈱サイサン）

埼玉県でガス関連の会社「サイサン」は、北杜市でも初めてのパプリカの溶液栽培を2haの施設で栽培。平成28年3月から栽培開始。

⑧㈱志太北杜ワイナリー・・・明野町浅尾地区天王原圃場（関連会社・・・シダックス）

カラオケの経営等で有名ですが、中伊豆にワイナリーと醸造用葡萄で観光農園を経営している会社。明野地区では、醸造用葡萄を本州最大規模となる20ha栽培。

⑨㈱ハーベジファーム・・・須玉町江草地区（関連会社・・・㈱フードワークス）

須玉町江草地内の耕作放棄地を耕作放棄地解消事業を活用し16haの圃場に大和芋の栽培を行っている。農業6次化にも取り組んでおり大和芋の加工施設も整備している。

⑩レッドファーム㈱・・・須玉町江草地区（関連会社・・・ヌースキャピタル、ジャパンメディカル）

江草地区の3.2haの圃場でピーツからクレンジングジュース、燕麦からグラノーラに加工するといった栽培から加工までの6次産業化を行う。

⑪㈱NSD 八ヶ岳ファーム・・・大泉町谷戸地区（関連会社・・・NSD）

障害者の自立支援のため、大泉町谷戸地内の花きハウス4棟を活用し、約9,000㎡の野菜の施設栽培を行っている。

⑫㈱オリエンタルランド・・・大泉町寺所地区

東京ディズニーリゾートを運営する㈱オリエンタルランドが、トマト・ミニトマト・パプリカを町営農場で栽培することを決定した。全ての作物は溶液栽培で行い、自社施設（テーマパーク・ホテル）へ

供給する。平成29年3月で造成が完了し、栽培施設の建設を行う。

⑬(株)AOB 慧央グループ・・・小淵沢地区（関連会社・・・(株)アルソア本社）

小淵沢地区内の耕作放棄地3.5haを解消し、関連会社への健康食品の原材料供給やレストラン用食材の無農薬栽培を行っている。作目は多品目野菜、機能性作物及び米。

⑭レ・パ・デュ・シャ・・・小淵沢下笹尾地区（関連会社・・・リゾネーレ（星野リゾート））

小淵沢下笹尾地内の耕作放棄地を解消し、2.0haの自社圃場で醸造用葡萄を栽培している。圃場に併設されたワイナリー（平成23年3月竣工）でワイン生産も行っている。

⑮(株)TVファーム・・・小淵沢町上笹尾地区（関連会社・・・(株)クリスタルシステム）

小淵沢町上笹尾地内及び明野町大内窪で、耕作放棄地解消事業を活用して3.2haで甲州種での醸造用葡萄の栽培を行っている。

⑯シティーファーム・・・白洲町上教来石地区（関連会社・・・本町運送）

白洲町上教来石で醸造用ブドウ栽培（約5ha）、有害鳥獣防止柵を設置し26年春に定植。平成29年から本格的なワインの醸造を行う見込み。

⑰ドームファーム北杜・・・白洲町前沢地区北原地内（関連会社・・・(株)グランパ）

白洲町白須でリーフレタスの溶液栽培（約8.3ha）施設規模・・・ドーム型ハウス40棟、加工処理施設1棟。

⑱アグリビジョン株式会社・・・武川町柳澤地区（関連会社・・・サラダボウル・三井物産）

6次産業化農業団地整備モデル事業（県）と緑と水の環境革命プロジェクト事業（国）を活用し、5haの用地に3haの大規模施設を整備しミディトマトを栽培する。

⑲高根ベビーリーフ菜園株式会社・・・高根町箕輪地区（関連会社・・・株式会社果実堂、カゴメ(株)）

カゴメが出資する農業生産法人を設立。(株)果実堂の栽培技術支援により箕輪地区の5haの圃場に2.5haの単棟ハウスを整備し土耕によるベビーリーフの栽培を行う。

⑳につつう北杜ファーム株式会社・・・武川町山高地区（関連会社・・・日本通運株式会社）

国内で総合物流業者の最大手の日本通運が出資し農業生産法人を設立。第1期では7,500㎡の施設を整備しサラダほうれん草を溶液栽培する。2期工事も予定されている。

■北杜市農業企業コンソーシアム

北杜市に参入した法人17社のうち、11社が連携し「北杜市農業企業コンソーシアム」を平成26年度に設立した。目的は、企業同士がネットワークを構築し、強調して法人が抱える問題解決や、6次産業化の推進、地域活性化活動を行っていかうというもの。

【 最後に 】

■中山間地域にあって、縄文文化の発達、甲斐源氏の発祥、幕府の直轄、明治政府への直訴等を経ながら、集落共有の財産として守ってきた土地の継承。

■地域農地の特徴や所有者の人柄を熟知した、担当者（県、市、中間管理機構、北杜市農業振興公社等）の連携協力。

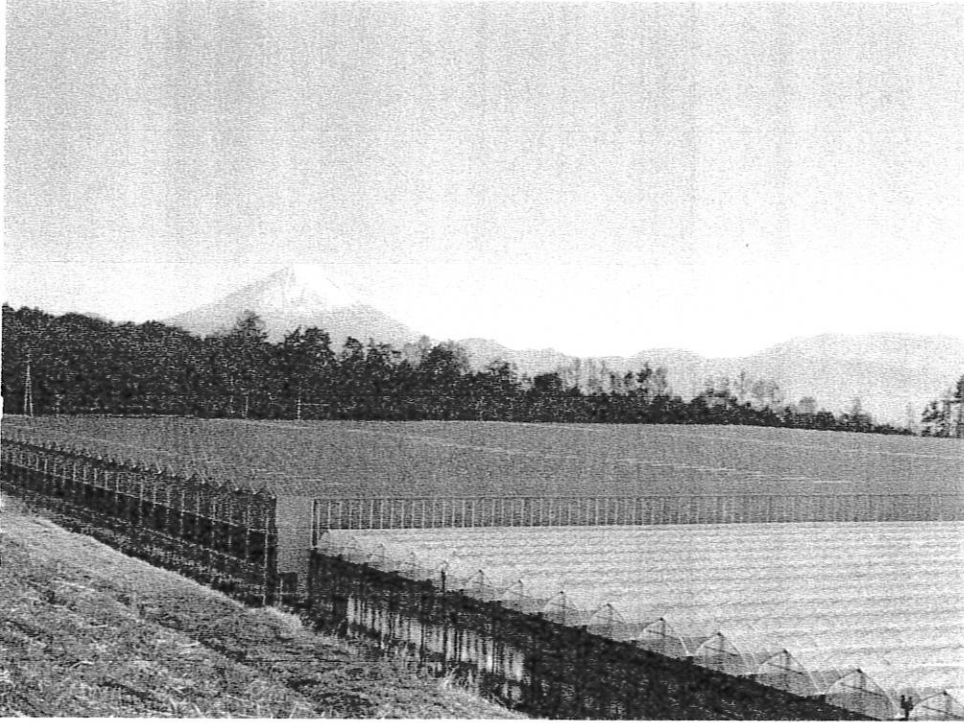
■市の方針として、今こそ、基盤整備を推進する必要がある。放置すると数十年後に地域の活力を喪失。

■基盤整備（土地改良事業）と農地集積を組み合わせた推進が不可欠。

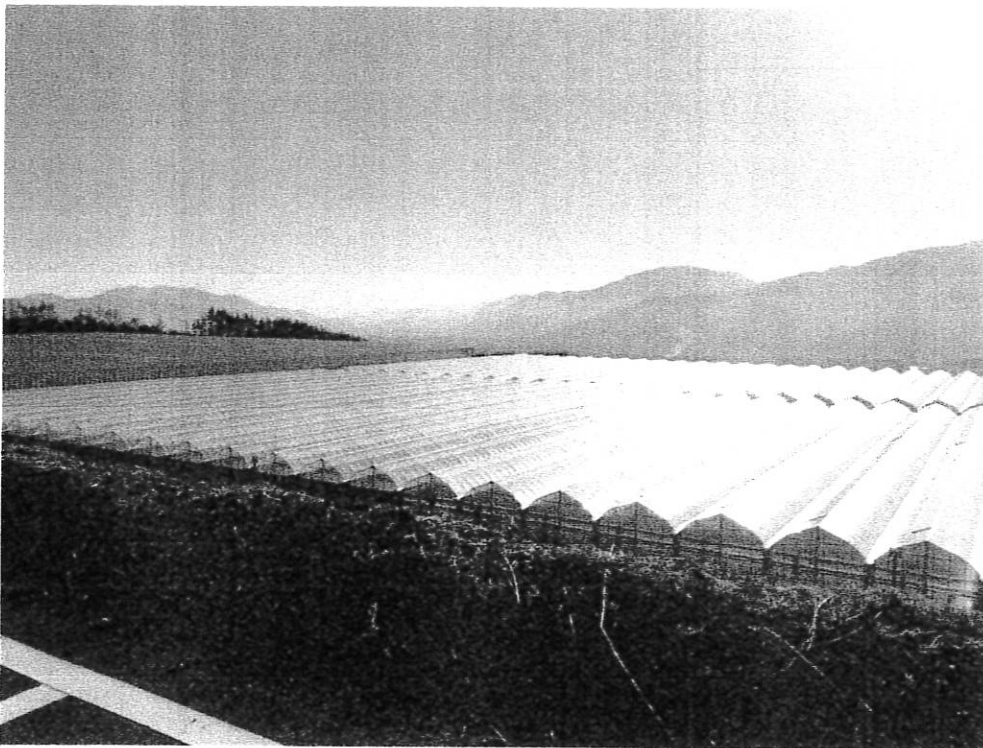
【 現地調査 】



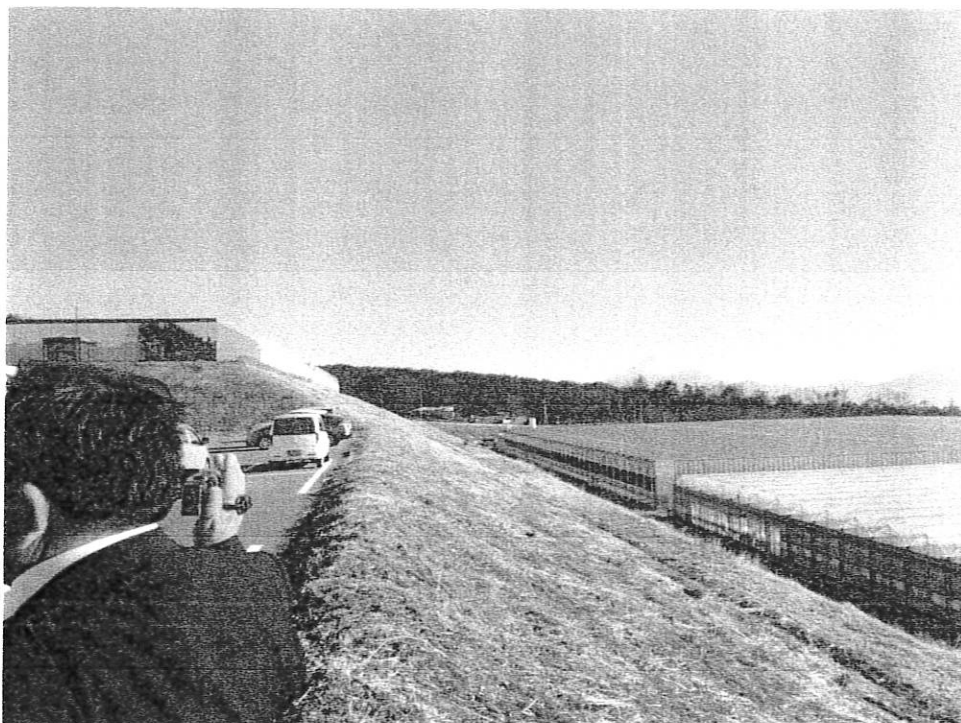
右側から藤田欽哉議員 櫻井恵二議員 大島文男議員 石井侑男議員 私、小林勇治議員



富士山とトマト栽培施設 奥の施設が㈱アグリマンド  
アジア地区初のオランダ型の最先端の技術で約2 ha  
の施設規模があり溶液栽培を行っている。



トマト栽培施設 (㈱明野九州屋ファーム 2 ha を越える施設

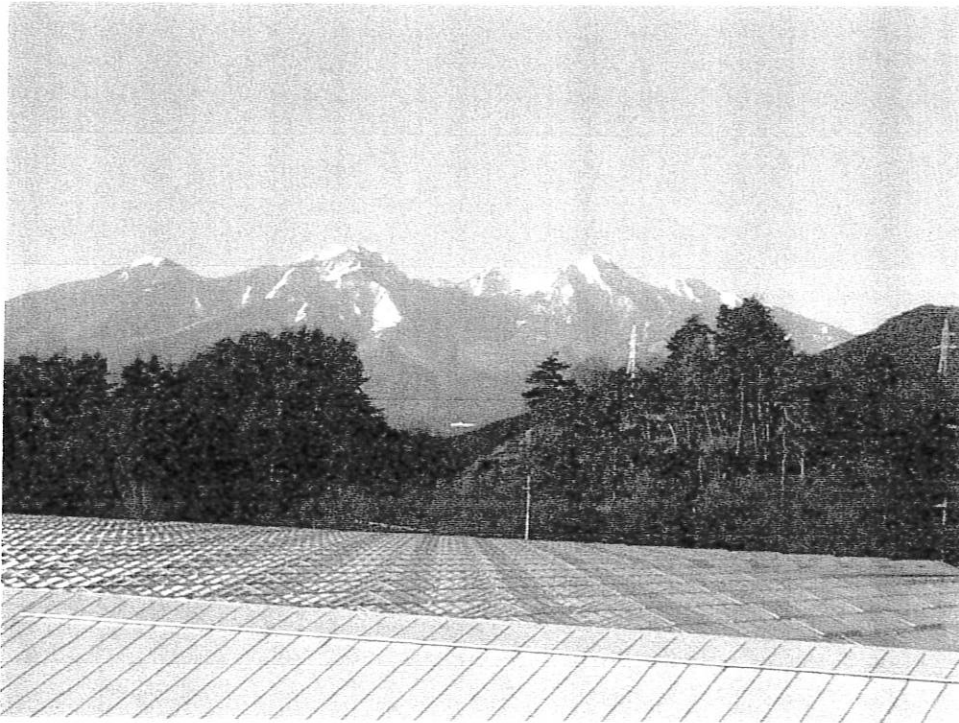


左側スプラウト栽培施設 (株)村上農園 施設規模は2.7 ha

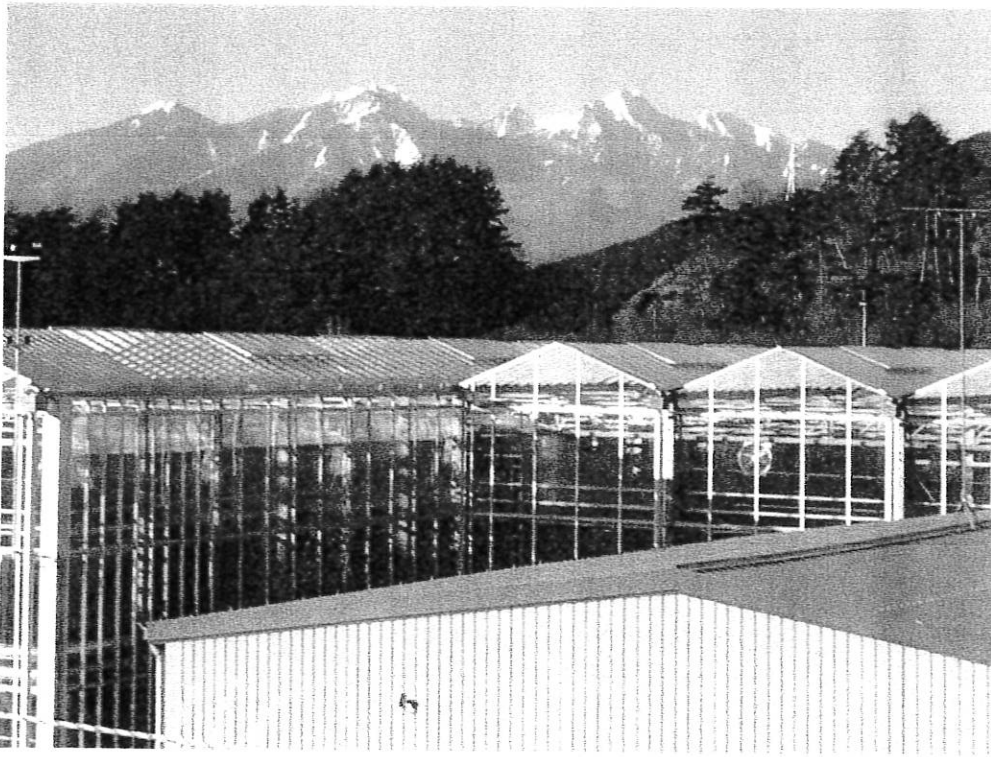


醸造用葡萄の栽培 (株)志田北杜ワイナリー 規模20.0 ha

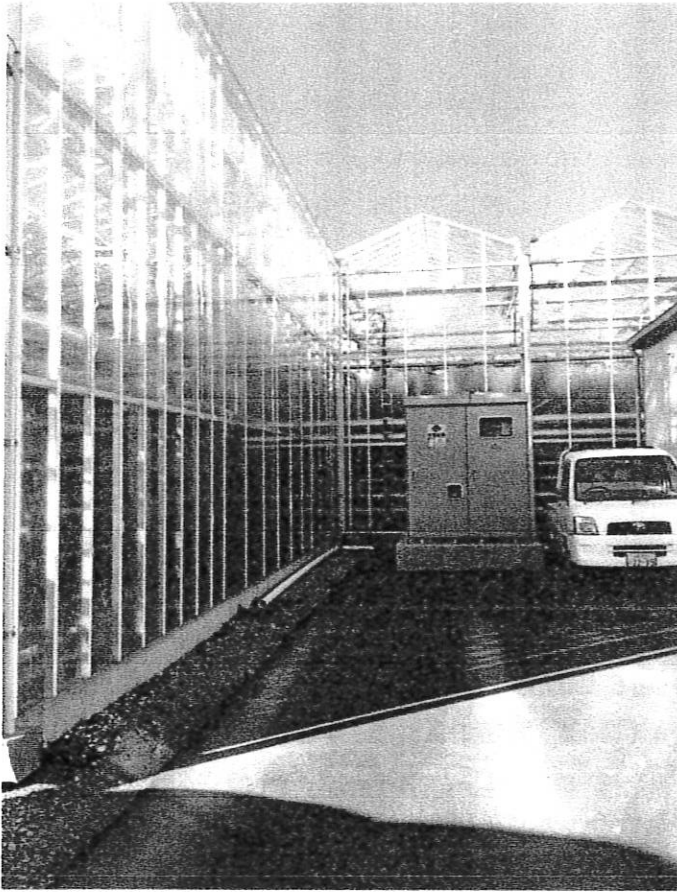




ハヶ岳とパプリカ栽培施設 (柵ベジワン北杜 施設規模2.5ha (1))



パプリカ栽培施設 (2)



パプリカ栽培施設（3）

《 所感 》

富士山が写っている永井原工区の3施設の規模は合わせて約7haもある。天王原地区の葡萄畑は20.0ha、パプリカ施設は2.5haある。現地視察はこの2地区5企業の施設を外から見学とにもかくにも、大規模施設での取り組みが行われていて圧倒された。急遽、パプリカ栽培の施設見学ができるようにして下さり、最後に施設内の見学説明までしていただいた。

矢板市にとっての農業は矢板市の基幹産業である。米作中心の農業政策であるが、ハウス栽培での作物への転換を戦略的に取り組むことで収益を上げる農業へ転換してゆく必要を感じる。

そのためには、県・矢板市・矢板市農業公社等の連携強化を図り、農地の集積を図り企業の誘致や、地元企業の農業への参入促進や、「人・農地プラン」を活用して新たな農業に取り組むことが重要と考える。

(2) 松本市「健康寿命延伸都市・松本」の取り組みについて（【人の健康】の分野について）

歓迎あいさつ

松本市議会事務局長 麻原恒太郎

矢板市議会代表あいさつ

団長 大島文男議員

説明担当

松本市健康福祉部 健康づくり課

課長 古畑 崇子

【 松本市の概要 】

面積 978.47km<sup>2</sup>（県内1位、全国23位） 標高592.21m（基準値・松本市役所）

人口241,112人 人口密度 246人/km<sup>2</sup> 世帯数 102,970世帯

■3ガク都の松本市

①岳都 日本の秀峰を顔前に望む大自然の宝庫。清冽な水と空気、五感を潤す松本。

上高地、奈川高原、美ヶ原高原、乗鞍高原、そして市内から北アルプスの峰々が展望できる。

②学都 情熱が環境をつくり 環境が人をつくる。先人達の思いを受け継ぐ松本。

重文 旧開智学校：明治9年に建てられた擬洋風建築の小学校校舎。国内で残る最も古い小学校の一つです。

重文 旧松本高等学校：北杜夫著「どくとるマンボウ青春記」の舞台にもなり、大正時代に建てられた洋風校舎は当時の面影を今に伝えています。

③楽都 やさしく紡ぐ人と人とのハーモニー。穏やかな調べに耳を傾ける松本。

セイジ・オザワ松本フェスティバル。

スズキ・メソッド 才能教育の創始者・鈴木鎮一氏 「どの子どもも育つ、育て方ひとつ」という母語教育法の理念に基づき、バイオリン、ピアノ、チェロ、フルートによる幼児からの音楽教育を行っている。

■国宝 松本城

文禄（1593～4年）時代に建てられた五重六階の天守を中心に、連結複合式と呼ばれる独特の構成をもって五棟の櫓が連なる天守は、四百年の風雪に耐え、戦国時代の優れた築城技術を今に伝えています。

松本市役所は、松本城の隣にあります。

【 本日の研修内容 】

■松本のまちづくり

- ①健康寿命延伸都市・松本の全体像
- ②松本市の地域づくり

■松本市の地域力

- ①福祉ひろば
- ②住民組織
- ③大学・民間企業との連携

■健康づくりの取り組み

■松本のまちづくり

- ①健康寿命延伸都市・松本の全体像

急速に進展する超少子高齢型人口減少社会



これまでのまちづくりの政策の転換



二段階方式で実施

- ・第一段階（現市長就任から平成16年より）3K施策「健康づくり」「子育て支援」「危機管理」
- ・第二段階（現市長二期目、平成20年から）「健康寿命の延伸」→ 健康寿命延伸都市・松本

「健康寿命延伸都市・松本」の位置づけ

総合計画：平成22年度に策定した総合計画（基本構想2020、第9次基本計画）において、めざすべき将来の都市像として「健康寿命延伸都市・松本」を掲げ、また第9次基本計画に定めた6つのまちづくりの基本目標それぞれに、「健康」を「より良い状態を保つこと」として設定した。

「健康寿命延伸都市宣言」

健やかでいきいきと暮らすことは、私たちの共通の願いです。そのためには、自らの心と体、そして、私たちが暮らす松本のまちが健康であることが大切です。

私たち松本市民は、一人ひとりの「いのち」と「暮らし」を尊重し、「健康寿命」の延伸につながる人と社会の「健康づくり」をめざし、ここに松本市を「健康寿命延伸都市」とすることを宣言します。

平成25年3月14日議決

②松本市の地域づくり

松本市の地域コミュニティ

松本の行政区 35地区

最も人口の多い地区 19,210人

最も人口の少ない地区 775人

町会（４９１） 地区（３５） 小学校区（２８） 中学校区（２０） 松本市

### 35自治地区の地域づくりシステム

地域づくりセンターを全地区（３５）に設置している。この地域づくりセンターは、公民館、福祉ひろば、支所・出張所を併せ持っていて、課長級職員、主事、広場コーディネーター、保健師を配置している。また、地域包括ケア支援センターの活動もしている。

### 地域力の向上が健康づくりの原点

地域の「住民自治力」「地域教育力」「地域連帯力」というものが「お互い様」の精神による助け合いの精神で。地域の抱える課題の解決・生活の質の向上を図っている。

### ■松本市の地域力

#### ①福祉のひろば

#### 福祉ひろばとは？ 地域の縁側

福祉づくりは地域づくり：地区福祉ひろばの様々な事業が、高齢の方を中心に、障害のある方、子どもにも優しい、「誰もが住みよいまち」づくりへと繋がっています。平成7年から35行政区すべてに設置。

#### 福祉のひろばの活動

- ・地域住民のふれあいの場：ひろばまつり・世代間交流・サークル活動・ひろば喫茶 など
- ・地域の相談窓口：健康相談、介護相談、生活相談 など
- ・地域福祉の担い手づくり：地区福祉ひろば事業の企画・運営、町会ふれあい健康教室、地域福祉の学習会 など
- ・地域の健康づくり：ふれあい健康教室・市民歩こう運動・いきいき健康ひろば・子育て支援
- ・地域の福祉づくり：福祉を考えるつどい、介護者のつどい、人権・福祉学習会、講演会 など
- ・ボランティア支援：送迎ボランティア、配食ボランティア、託児ボランティア など

運営は地域住民が中心となって実施、行政はサポート

#### ②住民組織

#### ソーシャルキャピタル 松本市健康づくり推進員

市民の「健康づくり」の一翼を担い、「健康寿命延伸」に向けて活動をしています

#### 活動の目的

- ・地区住民の身近なところから、健康づくり事業を推進する。  
～ 学んで ・ 地域へ ～
- ・健康増進の推進者として、関係機関と連携し、健康づくり事業が地域にゆきわたるように活動する。

昭和50年から設置 OB はすでに2万人

平成28年度 895名（女性848名 男性47名）

### 健康づくり推進員の健康づくりの輪を広げる運動

- ・組織活動（学習活動 ⇔ 健康教室の企画等）
- ・実践（まず自分から：例 ウォーキングをするようになった  
そして家族へ：例 家族に減塩の味を慣れさせた  
さらに地域へ：例 健診の大切さを話して誘った）

### 松本市食生活改善推進員

地域で食を通じた健康づくり活動を展開しているボランティアさん

昭和57年発足 会員380人（県内1番） OBも多数

活動の内容

- ・育児サークルなどのおやつづくり
- ・小学生を対象に親子料理教室
- ・小中学校での食育教室
- ・男性対象の食事づくり教室
- ・高齢者を対象として会食会
- ・味噌汁の塩分調査 など

### 体力づくりサポーター

体力づくりサポーター自身の体力維持向上と共に地域の高齢者の体力づくりのお手伝いを通じて、地域のつながりを深める。・・・4年計画で育成500人

サポーターの具体的な活動

- ・健康づくり課実施の体力健診のサポート
- ・地区での、簡単な体力測定の実施
- ・ふれあい健康教室等で、簡単な運動指導
- ・四肢筋伝道師 など

### 長野県の平均寿命

平成22年 男女ともに全国1位

男性 80.88 女性 87.18

男性は平成2年・7年・12年・17年そして22年と連続で全国1位

長野県の健康長寿の要因

- ・高齢者の就業率が高く、生きがいを持って生活している  
高齢者就業率（平成22年度） 長野県 26.7%（全国1位） 全国20.4%
- ・野菜摂取量が多い  
野菜摂取量（1人1日当たり） 男性 379g（1位） 全国 301g  
女性 353g（1位） 全国 285g
- ・健康ボランティアによる自主的な健康づくりへの取り組みが活発

- ・専門職による地域の保険医療活動が活発

保健師数（人口10万人当たり） 平成22年 61.9人（2位） 全国 32.2人

### ③大学・民間企業との連携

大学との連携・・・信州大学 松本大学

企業等との連携・・・健康寿命延伸都市・松本プロジェクト

- ・若い時からの認知症予防対策

連携企業・団体（フィットネスクラブや新聞社・飲食店）など41社参加  
活動内容

対象施設やサービスを利用して応募はがきをゲット

次に専用はがきに「健康目標、健康宣言」などを記載して応募

抽選で豪華景品 健康グッズが当たる（10,000人の応募在り）

- ・ローソンとの連携

市内19店舗あるローソンで、「ローソンで健康相談」を開催

市民の健康意識の向上 検（健）診の受診勧奨

- ・松本信用金庫と「がん検診」受診勧奨

がん検診のPRパンフレットを作成 ⇒ 松本信金のお客様、職員へ配布

- ・J2松本山雅FCとともに

がん検診・特定健診のPR

- ・健康産業の創出・支援

ヘルスバレー構想

### ■健康づくりの取り組み

第2期 松本市健康づくり計画 スマイルライフ松本21・・・平成23年度からスタート

「メタボリックシンドローム」と「ロコモティブシンドローム」の予防

取り組みのキーワード

若い時から

一次予防

地域・企業連携

具体的な取り組み

- ① こどもの生活習慣改善事業・・・地区担当保健師

こどもの生活習慣が将来の健康づくりの基礎となる

そのために、こどもの時期に望ましい生活習慣を形成

- ・信州大学・松本大学との連携

- ・保育園・幼稚園との連携

- ・教育委員会・小中学校との連携

② こどもの生活習慣改善事業

学校での取り組み

- ・血液検査に基づく意識づけ・・・平成13年度開始  
平成27年度から HbA1c（血糖値） 尿酸値追加
- ・食・運動に関する講座
- ・休み時間への運動指導者派遣

地域での取り組み

- ・親子運動あそび教室 「親子あそびランド」

③ 働き盛りの生活習慣病予防事業

「健康講座」を職域で展開

④ 働き盛りの健康講座

退職 ⇒ 国保 その前からの健康づくり

⑤ 身体活動維持向上事業

転んで介護状態にならないために・・・その前から健康づくり

そのために

「体力健診」

地域の高齢者を対象に下肢筋力、バランス力、柔軟性などの測定を行っています

ロコモ予防                      メタボ予防

介護予防事業

- ・膝痛改善教室
- ・脳卒中予防教室 など

市民あるこう運動

- ・ウォーキング講座（ピンピンキラキラ健康講座）

⑥ 自殺予防対策事業

松本市独自に相談窓口を設置し

- ・電話相談・対面相談
- ・9時～17時15分（平日）
- ・職員2人体制（平成22年10月～）

⑦ 検診・予防接種の充実

市独自の検診

- ・肺がん CT 検査
- ・乳がん超音波検診 30歳以上
- ・前立腺がん検診



- ・子宮頸がん検診 HPV 検査併用検診
- ・緑内障検診
- ・胃がんリスク検診（ABC 検診）

予防接種費用の費用を助成

- ・おたふくかぜ 3, 000円（1回のみ）
- ・B 型肝炎 2, 500円（1回）定期外
- ・高齢者肺炎球菌 3, 000円（76歳以上、定期外）

#### ⑧ 市民歩こう運動

「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向け、まずは市民一人ひとりが歩くことによる健康増進に取り組むためのきっかけをつくることから運動をスタート

#### ⑨ 市内35地区すべてにウォーキングマップ

市域の資源を活かしたウォーキングマップを市民が協力して作成

#### ⑩ 食育推進事業

第二期食育推進計画「すこやか食プランまつもと」に基づいて食育を推進  
健康・環境・農政・商工・給食などに関するさまざまな分野と連携

- ・地域での食育講座
- ・小中学校への出前講座
- ・高齢者への口腔体操の普及・啓発
- ・高校卒業時・中学校卒業時・新成人へのレシピ集の配布
- ・食品ロスの取り組み 3010
- ・地産地消、伝統食
- ・給食 など

#### ⑪ 松本市の健康寿命

平成25年度 男性 79.51歳 女性 84.21歳

#### 《 所感 》

矢板市でも平成29年度から第2期すこやか矢板21 健康寿命をのばそうがスタートする。そのようなときに、「健康寿命延伸都市・松本」の視察・研修を受けた。長野県は男女ともに長寿日本一の県である。特に男性は平成2年から平成22年5年ごとの調査で連続日本一である。長野県の気候は寒いのに関わらず日本一長寿であるのです。何故なんだろう？その秘訣はどこにあるのだろうか？と思った。地域と行政が一体になっている。35地区に拠点ありそこを中心に地域活動が進められている。そればかりか、学校、企業、大学が連携して健康事業に取り組んでいる点等松本市民が一体になって健康という事にとりみされているところが優れているのかなと感じた。そして、「高齢者の就業率が高く生きがい」のキーワードを見出した。元気でいつまでも働ける環境が生きがいを作ると感じた。